

備前市事務事業評価表

事務事業名	市道等管理事業	コード	01-01-11-09
		担当課・係	都市整備課 管理係
		担当者	岸本豊弘
		電話	64-1833
事業実施期間	美話6年度～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目（基本目標）	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目（基本施策）	生活しやすいまちづくり	
	小項目（施策）	市道の整備促進 歩道の整備促進	

事業について	
目的 (何のために)	市道等を整備し地域住民をはじめ市道等利用者の安全を図る。また、地域の活性化を図ることを目的とする。
対象 (誰・何を対象に)	市道等利用者及び地域住民
内容	市道・市管理河川等の整備 指導認定・指導編入事務 官民境界立会業務 市道・農道水路等の占用許可業務 法定外公共財産の用途廃止事務 道路台帳補正事務 外

事業の結果	
実施項目	回数など (単位)
官民境界立会件数	80 件
市道占用区丘件数	88 件
法定外公共財産の用途廃止件数	9 件

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	5,715	間接補助金等		直接事業費	8,624	間接補助金等	
	人件費	11,465	受益者負担	8,909	人件費	16,308	受益者負担	10,244
	合計	17,180	市債	8,271	合計	24,932	市債	14,688

必要人員	160 人	2,23 人
結果指標名	官民境界立会申請件数	官民境界立会申請件数
結果指標量	80	82
単位	件	件
対前年比	-	102.50%
活動にかかるコスト	5,100,000 円	6,500,000 円
単位当たりコスト①	63,750 円	79,268 円
結果指標名	市道占用許可件数	市道占用許可件数
結果指標量	88	102
単位	件	件
対前年比	-	115.91%
活動にかかるコスト	3,400,000 円	4,500,000 円
単位当たりコスト②	38,636 円	44,118 円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	市道利用者の安全を図る。		
成果指標名	苦情等発生率	式又は説明	苦情件数/総許可件数
	17年度	18年度	
成果指標量	177	195	
対前年比	-	110.17%	0.00%
到達目標値	0	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

(平成18年度事業)

妥当性評価<A~E> A

課題認識  
本事業は、市道占用許可、官民境界確認立会業務また市道補修草刈業務等市民に直結した業務であり必要不可欠なものである。

効率性評価<A~E> D

課題認識  
許可一件の処理に時間を要するが、短時間で適正に効率よく業務を行うことに努める。

有効性評価<A~E> B

課題認識  
申請は図維持であるため作業量にのみがあるが、適正に処理できておりそれに対する苦情もなかった。また市道の補修等の業務においても危険箇所等通告のあったものは即座に対応できている。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 現地確認後、費用・効果・危険度等で判断し、維持管理を行う。
----------	---	---	-------------------------------------

目標値	結果指標量①	苦情等発生率	結果指標量②
	成果指標量		

総合評価	占用等の業務については、苦情等もなく処理できている。これからも申請者へ手続き、施工についての市道を徹底し、許可によって市民生活に支障をきたすことのないよう適性、迅速に処理していく必要がある。また、市道の整備補修についてもパトロールを強化し市民の安全確保に努めることとする。	評価区分 <A~E> B
------	--	-----------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	手続・施工時等の指導	毎年	苦情発生件数ゼロを維持できる